

童謡・わらべ歌を 歌おう



イラスト/いとうようこ

い親もいるのです。子育てをしている生活の中で自然に発せられ、自然に溶け込んでいながら、それぞれの記憶に刷り込まれて受け継がれていくものだと思っていましたが、今はそういう「自然」が失われています。

「子どものためのクラシック音楽」「子どものため安眠音楽CD」などのCDも出ていますが、そういうモノの是非ではなく、親子の行為としての童謡やわらべ歌があるということです。お腹の中にいたときから聞いていた親の声で聞く童謡やわらべ歌は、上手下手で聴くものではありません。小さな子どもから覚えて歌うことができることがポイントです。つまり、すぐに一緒に歌えるということです。呼吸のような穏やかなリズムと優しい言葉は、誰にとっても心地よいものです。それはふれあいと同じです。手で体をさするふれあいもあれば、一緒に歌うことでふれあいとなり、癒されるものもあります。

ゆっくりとしたリズムで、音域も広くないので、誰もが楽に歌えます。覚えやすく、短い歌詞もいつまでも頭に残り、記憶に残ります。だから受け継がれるのです。失われつつある童謡やわらべ歌。お子さんと鼻歌まじりに歌ってみませんか？ 懐かしく優しい時間になります。子どもとの大切なリズム感を取りもどすこともまた「ケア」だと気づくことでしょ。

※特集に、わらべ歌関連の本もご紹介しています

秋も深まり、夕焼け空が美しい季節になってきました。子どもが小さかった頃は、そんな夕焼け空を見ながら、自然に「ゆうや〜けこやけえ〜の赤とんぼお〜♪」と少々音が外れながらも歌い、それが終わると今度は「げんこつ山の狸さん」を手遊びしながら、笑い声をあげて家に帰ったものです。特にわらべ歌は、「もう一回やって!」と、1回で終わることのないおねだりに根負けして帰りが遅くなることもしばしばありました。そんな思い出は、私だけじゃなくよくある親子の光景だと思います。

しかし、今は夕暮れになると自転車やバギーに子どもを乗せてものすごい勢いで走り去るお母さんたちが目にします。夕焼け空を見る楽しみも、鼻歌でリラックスしたり、手遊びで笑いあう時間もないくらい忙しくしています。幼い子どもとのいつきの時間を楽しむこともないのは、とても残念なことです。

最近、幼稚園や保育園でも、昔ながら

のわらべ歌や童謡ではなく、リズムカルで言葉遊びを中心にしたポップな歌が好まれ、子どもたちもそれに合わせてダンスをするのが大好きです。それはそれで良いと思いますが、昔から歌い継がれている童謡やわらべ歌は、やっぱり幼少期に必要なものです。

わらべ歌とは、子どもたちが遊びなどの日常生活の中で、口伝えに歌い継いできた歌のことです。手遊びや、毬つきなど遊び要素も含んでいます。また伝承の仕方自由なため、地域や文化の違いも色濃いものです。

童謡は、子どものために大人が創作したもので、わらべ歌とは異なりますが、覚えやすい優しい言葉を使い、耳に残る楽しいフレーズは、子どもの言葉を覚える手助けになります。わらべ歌も童謡も子ども時代にもふれるべき情操教育です。

最近、子守唄を聞いたことがないという子どももいます。もちろん歌ったことのな

チャイルドケア講師 松本 美佳

特集

読書は

子育てと 母育てと 生きる力

子どもの読書離れが進んでいることは言うまでもありません。その問題を解決する策として、幼少期からの絵本の読み聞かせや小学校の「朝読書」「10分読書」などが積極的に設けられています。それでも、子どもたちの本離れは深刻です。

しかし、どうでしょう？ 読書離れは、子どもだけの問題でしょうか。最近では親の読書離れが加速しています。パソコンやスマホで検索したり、調べたりと活字にふれていてもそれが読書になっているわけではありません。

インターネットの普及で、本を購入したり、借りる習慣も減っています。街中の本屋さんは減少し、図書館に行く人も減っています。以前の私たちは余暇に本を読むことが、日常の一部でした。今はその時間は、パソコンやスマホでの検索、SNSなどに利用している人も多いと思います。生活のスタイルが変わったことありますが、読書することが減り、実は様々な問題が起こっていることにも気づかねばなりません。

チャイルドケアは、アロマやハーブのノウハウを伝えるだけの講座ではありません。専門書を読み深めていくことも必要ですが、子育てや生活を通して「生きること」を考える「命のケア」を伝えることが目的です。

そのために私は、あらゆるジャンルの本を読み、感じ、考え、発想のヒントにしています。今回の特集では、私がチャイルドケアを幅広い視野で考え、伝えていくために実践している読書についてお話しします。私的な読書の捉え方を知っていただけると、7つのコンセプトにある「感性を磨く」「言葉を大切にすること」「いのちと生きること」を考えて伝えるなど掲げた背景にも気づかれることでしょう。読書は、子育てだけではなく、母育て、生きる力をつけるための「ケア」です。

松本 美佳

ネット情報と本の違い

知りたい情報は、インターネットで検索して専門のサイトや誰かのブログで済むので、読書をしていることと変わりが無いと思っているかもしれません。ですが、文字を読んでも、「本」ではないので、読書ではありません。本はある程度の形式もありますし、出版するにあたり内容が厳正されて、責任の出所が明確となっているため、比較的健全な情報や知識であると思います。インターネットは、その辺が大きく異なります。特に個人で発信して

いるものは、情報があいまいで、コピーして掲載することにも抵抗がなく秩序が乱れています。つまり情報が不確かで無責任なものも多いのです。また、本を作るにあたっては、編集者や校正者がいるため、文章や誤字なども整っています。ネット情報は言葉や文章の乱れが多いものもあり、表現するうえで誤っているものもあるように思います。つまり、読書はいわゆる国語力がつくと言われていますが、ネット情報を読んでも国語力がつくとはいえません。本は情報を得ることだけでなく、良い本から良い言葉や文章力を学んでいくためにも必要です。

本との出会いと愛着

本を選ぶときに、一般的にその本の評判や人からのおすすめを参考にしている方も多いでしょう。私にとって本は、人との出会いと同じです。本を探すというより「出会う」という言葉がピンときます。図書館や書店に足を運び、本のある場所に身を置くと、自然に目に入り、本の方から誘われるような気持ちになります。私だけに限らず、本好きは同じようなことを言います。何となく本の「存在」との波長を感じるのかもしれませんが。読書に対して「存在」という言葉を使うことに違和感があるでしょうか。

今や本も電子書籍の時代。生活ツールとして当たり前になったパソコンやスマホで見ることができるのですから、それでいつでも簡単に「読書」できるようになりました。かくいう私も本の置き場所に苦労しています。すでに自宅の4つの本棚はいっぱいで、入りきらない本が書類棚やリビングの片隅に積まれています。外出時も必ず一冊は携帯しますが、持ち歩くには重いこともあります。溜まった本の処分にも一苦労です。

そんなときに最近、出回っている電子書籍リーダーはとても便利です。私も早速手にしました。最近、アプリをダウンロードしてタブレットやスマホで読むこともできます。荷物も軽くなり、本の置き場所にも困らなくなりました。しかし、利用していると気づくことも多々あります。料理や手作り関連のハウツー本は、一面で構成されて見やすくなっているものが多いので、電子書籍でも問題ありません。しかし、なぜか小説などのストーリーものは、ペー

ジがすすまないのです。時間が経って、改めて数ページ前から読もうと思っても、どこだかわからなくなってしまい、いつものような快適な読書になりません。さらに文字は目に入りますが、読んでいる感覚、実感がなく、なかなか頭に入りません。集中力が持続せず、かえって読み終えるまでに時間がかかります。

同じように目を使い、文字を読んでいる動作ですが、本の場合、「目」を使って読んでいるだけではなく、本の紙質やその紙の臭いや重さなどに対して、五感も使っています。ページをめくるときに指先を使いますが、こういう作業もまた脳を刺激しているため「読書の感覚」が生まれるのだと思います。

また本には「愛着」を持ちます。良い本に出会うと、思わず抱きしめたり、その背表紙を見るだけで愛しく感じたり、読むわけではなくてもペラペラとページをめくるだけで満足したりと、不思議な「愛着」が生まれます。電子書籍にはこういう感覚はありません。便利で合理的ですが、やはり欠落してしまうものはあるように思います。

もちろん、使い慣れてくれば変わるのかもしれませんが。でも、果たしてすべて切り替わるのかというとまだまだ遠い先のように思います。

最近、学校や塾でも教科書や参考書を電子書籍にするとところが出てきていますが、私はこの「五感」を感じる本の利用の仕方を伝えていかなければ、また学力不足などにつながるのではないかと懸念しています。感性を磨くということは、五感から何を感じ取るかということにつながります。理屈ではない感覚を身に付ける機会が失われていくことに不安を感じます。



松本美佳の本棚から



●読む力は生きる力

著／脇 明子

読書をすすめる本がたくさんある中で、とても共感することが多かった一冊。



●ノーム

文／ヴィル・ヘイゲン 絵／リーン・ポールトフリート 訳／遠藤周作・山崎陽子・寺地伍一

森の妖精「ノーム」の生態と生活が詳細に書かれているので、あたかも存在するかのよう描かれています。大人も楽しめる一冊



●100万回生きたねこ

作・絵／佐野洋子

幼稚園生だった息子に何百回も読ませられた一冊。その後しばらく考え、自分でページをめくっていた背中を思い出します。



●おおきな木

作・絵／シエル・シルヴァスタイン 訳／ほんだきんいちろう

長年読み継がれている名作。無償の愛について親子で深く考えた本。

読書の効果

読書はさまざまな効果があるとされ、読書をしないことの方がもったいないとさえ感じます。以下は私が思っている読書の効果です。

▶国語力の向上

語彙が増え、読み書きのスキルが上がり、読解力も身につきます。流れを持った認識ができるようになります。

▶知識の向上

さまざまな知識を知り、覚えることができます。さらにその知識を深める本に出会えば、よりその知識は知性となり教養となります。

▶想像力の向上

活字だけでさまざまなことを想像し、イメージが広がり発想が豊かになります。想像力を鍛えることは、具体的に行動することにもつながります。

▶ストレス解消

某大学の研究によると、6分間の読書でストレスが3分の2に軽減されたという報告が出ています。音楽鑑賞や散歩することよりも早い改善ができます。一瞬にして違う世界に運んでくれる本の世界は、安らぎも刺激も与えてくれます。ご自身の余暇の時間に合わせて、短い時間でも楽しめるようなショートストーリーや絵本、詩集などを讀んだり、時にゆっくり時間をかけて、数ページずつ長編を讀んだり、上手に読書をコントロールしてみると、上手なタイムスケジュールが組めるものです。メリハリをつけるためにもおすすめです。



松本美佳の本棚から



●子どものためのライフスタイル 考える練習をしよう

著／マリリン・バーンズ 絵／マーサ・ウェストン 訳／左京久代
勉強のための思考というよりは、ウィットに富んでいて、ユーモアあふれる考えを導いて入れる一冊。カチカチになった大人たちが讀んだ方がいいかもと思った本。



●本物の自然療法

—自然に生きる人間本来の病氣観—
著／大滝百合子
対処療法ではない自然療法の考え、病氣に対する捉え方にとても共感。チャイルドケアの概念に共通するものがあります。

▶不安の軽減

さまざまなことを知り、思考が向上していくことで不安や迷いが減少します。知ることで安心できることが多くあるので、子育てで不安の軽減に大いに役立ちます。ただし、専門書ばかりがそれを補うわけではありません。偏った考えに傾倒しないためにも幅広いジャンルから選びましょう。

▶生きる能力の向上

生きる上で、さまざまなヒントや役立つ知識が得られ、異文化への理解や、他者を理解することにもつながり、コミュニケーション能力にも変化が出てきます。考える力につながり、多くの生きる力を向上させます。

▶体験の代用

大人も子どもも体験をすることが失われ、そこから得る人間力が希薄になっていると言われています。しかし、読書は疑似体験にもつながります。経験不足を補うこともできます。

▶書き言葉のスキルの向上

これは表現力にも通じるものです。最近はブログやSNSなどの利用もあり、文章を書く方も増えていますが、多くは話し言葉が目立ちます。話し言葉と書き言葉には根本的な違いがあります。話し言葉はおしゃべりできれば使えますが、書き言葉は頭を使い、考えなければ使うことができません。適切な言葉、表現力、構成力、伝える内容など考える力が必要です。チャイルドケアの資格試験では、特にCCI試験において「自分の言葉でまとめる」という問題が多く出ます。資格を取得し伝える立場になった時に、知っていること、わかっていることを書き言葉にできるようスキルを上げる必要があるため、試験は○×が中心ではないのです。答案を拝見すると、読書され



●ケアの本質

—生きることの意味—
著／ミルトン・メイヤロフ 訳／田村真・向野宣之
ケアという言葉があふれ、何をケアとするかわからない現代。「ケア」を深めたいと思った時に出会った一冊。



●ライフスタイル革命

著／ハーヴィー・ダイヤモンド・マリリン・ダイヤモンド 訳／松田麻美子
「食」の見直しをするときに勧められて手にした本。今も「食」を調整するときは、この本にヒントを得ています。

ている方か否かは自ずと見えてきます。意外なところに指導者としてのスキルが問われています。

▶その他

効果をあげればきりがありません。良いことばかりのように思います。ぜひ、自分の世界を広げるためにも良い本に出会えるチャンスを作る努力をしてください。

読書の効果や利点を書いた本はたくさん出ています。私も何冊も読みました。それぞれなるほどと思うものもありますが、10年ほど前に協明子さんの「読む力は生きる力」^{*}を読んで、共感することがとてもあり、チャイルドケアでも読書の大切さを伝えていこうと思いました。

子どもたちへの本の選び方

仕事をしていたこともあり、正直、子どもたちと一緒に図書館に通うことはあまりできませんでした。ひとり遊びさせるが多かったこともあり、子どもたちには、本をおやつのように与えてはいましたが、それでも読書好きになるとは限りません。それでも、少しでも本に対して興味を持ってもらうために、子どもの個性によって本の選び方を変えていました。年齢別におすすめの絵本や童話、児童文学などが挙げられていることもありますが、何よりも二人の子どもが興味を持つものを意識しました。同じ本も読みますが受け止め方が異なることに気づいたからです。

娘はおっとりしていて、空想好き。不思議なことや、きれいなものに対して深い興味を示す子どもでした。魔法使いや妖精が出てくるような本を選びました。すぐに興味を示し、日々の生活の中でも「工夫」という魔法を覚

えたり、花や生きものに「心」を感じ、優しく接していました。興味を示すと、何度も何度も同じページを開きます。そのたびにまだ読めない文字をたずねてきては、意味を知りたいがり、覚えていきます。つまり興味があれば、年齢別にこだわることもないと気づきました。

お気に入りには「ノーム」^{*}。この本は私もお気に入りなので、二人でよく読みました。森の妖精ノームは、ハーブを使って体のケアをしたり、針治療もするのです。我が家にリンクした内容なので、娘にとってノームは家どこかにいる家族のような気持ちでいたのかもしれません。今も娘の書棚に記憶と一緒に収まっています。

息子は、幼いころから現実的な一面を持っています。不思議なことよりも現実的なことを好みます。妖精や天使などと言っても興味を持ちません。それでも、子どもですから、やはり夢があり、想像することの楽しさを持っていました。そんな息子には、恐竜の本を選び、実際に存在していたことを教えたりしました。あるいは宇宙の本や、発明家の本なども好んで読んでいました。さらには少し哲学的な話も好きだったので、ジエンドにならない話を好みます。ジエンドにならないお話というのは、単純にハッピーエンドで終わるものではなく、何か読み終えた時にいろいろな思いが生まれるようなものを好むのです。

お気に入りには、佐野洋子さんの名作「100万回生きたねこ」^{*}。何度も何度も読み返し、納得のいかない表情で本を閉じていました。シェル・シルヴァスタインのベストセラー「おおきな木」^{*}もそうです。誰が幸せなのか、見返りを求めない愛情とは……私自身も尋ねられると答えに困るものを選ぶのです。そのたびに互いの思いを話し、納得したり、反発したり、受け流したりしてきました。



●「わらべうた」で子育て 入門編
著／阿部ヤエ

東京生まれの東京育ちで核家族で育った私は、「わらべうた」にふれた経験はありません。そこで興味を持ったのがこの一冊でした。受け継いでいくのもチャイルドケアだと思います。



●家で病気を治した時代
一昭和の家庭看護

編著／小泉和子
昭和の時代は、母親は医者でもあったのです。昭和のレシピやノウハウ本ではなく、昭和の時代のおける病気の捉え方がわかります。



●おかあさんとあたし。
著／k.m.p ムラマツエリコ なかがわみどり

本屋さんで出会った一冊。ほのぼのしたイラストで子育ての一瞬が切り取られているのですが、懐かしく、温かい気持ちになります。時間のない時の癒しになりました。



●谷川俊太郎 質問箱

著／谷川俊太郎

幼児から大人まで詩人谷川俊太郎さんに何でも質問します。温かく優しくユーモア満点の答えは、頭を柔らかくしてくれます。

息子は22歳になりますが、いまだに「僕はこう思うけど、お母さんはどう思う?」と意見を尋ねてきたり、話し合いができるのは、そんな幼少期からのやりとりから築かれたのかもしれない。

思考を深めるために

次は私の私的な本の利用法を紹介します。本を読むことのきっかけとして、「娯楽」として取り入れる方も多いと思いますが、もう一つの大切なこととして、思考を深めるために必要なのが「本」だと思います。興味をもって、深め、調べるという流れを持つ、思考の向上につなげていけるような質の良い本に出会うことです。

最近、現実で合理的なことばかりが中心になっているため、幅広く物事を見たり聞いたり、感じたりすることが希薄になっています。

わからなくなったら、すぐにパソコンやスマホで検索して探すことが当たり前になっていますが、これは調べていることにはなりません。

「調べること」は、大切な学習方法です。

調べるためには「本」が必要になります。本は、誰かが長い年月研究したことや深い洞察で書かれていますから、インターネットでの情報とは明らかに違います。

チャイルドケアを立ち上げてから、私はさらに知識や経験を深めるために大学に入り、難しい本を読む機会を与えられました。当たり前を感じていたことを改めたり、新しい知識を入れることでさらに表現の深さを覚えました。何冊も読み重ねてひとつのことを見つけないという物事の深め方や調べ方を改めて知ることができたのは、大きな収穫でした。その中でミルトン・メイヤロフの「ケアの本質―生きることの意味」^{*}は、チャイルドケアにも影響を与えた一冊になったと思います。

「ケア」という言葉が氾濫し、私自身もこの本に出会う前から「チャイルドケア」と「ケア」という言葉を軽率に使っていましたが、この本が、「ケア」とはどういうことなのかを本質的なところから考え直すきっかけになりました。「ケア」はサービスではなく、人が生きていくうえで本質的な営みという言葉が身にしみます。「ケア」という言葉で仕事をしている人は一読してほしいと思います。チャイルドケアの断片が見えてくることでしょう。

葛藤を乗り越える

前述で話したことにつながりますが、子どもも私も「考えるために」本を利用しています。だから単純に答えを見いだせるものではなく、自分の考えで答えを出せるものを選んでいくかもしれません。よく考えると、「これは本当にハッピーエンドなのか?」「誰にとつての幸せで、誰が不幸せ?」「死んでしまうことは悪いことで悲しいことなのか」少しひねくれているようにも見えますが、実はこうした葛藤やジレンマは、生きていくうえで大切なことです。良いとされるひとつの答えが出ないと、間違っていると思ってしまう流れに、何か不自然ささえ感じるのです。とくに子どもたちの思春期や成長期にはそうした葛藤と向き合わなければなりません。そんなときは親の理不尽な教えよりも、本から得られる「自分の答え」に出会うことができると思います。

子どもたちに、何を考えさせていくかというのは、勉強で使う思考とは違います。「心」を使う考え方です。豊かな想像力と葛藤やジレンマの乗り越え方などが「心」を鍛えることにつながります。勉強に関する本ばかり読んでいても「心」は鍛えられません。

これは大人も同じです。便利なノウハウやハウツー本ばかり読んで、一見知恵はついたように思っているでもそれは人の真似です。もっと視野を広げ、思考を深めていくことができれば、自らひらめく力をもつのです。大人も「心」を鍛えないとなりません。

大人が読書の楽しみを知っていると、自然に子どももそうした環境が自然になり受け入れます。読書を「楽しむ」から「愉しむ」になったときに、思考が広がり、柔軟な感性が生まれ、生きる力につながっていくことでしょう。これからの季節、ぜひ「読書」を生活の中に取り入れてください。良い本との出会いは、友達であり、良きアドバイザーであり、良き師にもなってくれるものです。

掲載している本は、私物です。本棚に並んでいる本を見るとその人がどんなふうにいるのかかわかってしまうものです。だから本を紹介するのは私の心を見られているようで少し恥ずかしい気持ちもあります。今回はその一部を見られている感じでしょうか。ご紹介している本は、既に絶版になっているものもあります。もし「出会い」があったら、ぜひ手にとってみてください。どこかにチャイルドケアスピリッツを感じるかもしれません。

加盟校でCCC取得。 さらにCCIを経て普及する加盟校に

CC 加盟校 文珠 広子さん(東京都江東区)

主人、22才の娘、私の3人家族、プラス犬一匹暮らしです。ベビーシッターとして活動中。

2年前、ベビーシッターをして10年が過ぎた時、核家族のお母さんの子育てに関する相談相手のほとんどが、インターネットであることに驚きと戸惑いを感じました。当時、ベビーシッターの傍ら、保育ママさんの補助として勤務していた時のことです。「子どもがなかなか寝ないので、何時頃に寝るのがベストなのかネットで調べました」「食事をあまり食べないので、ネットで調べてみました」というお母さんの声をよく聞きました。

私が娘を育てていた時には、近所のおばさんによく話していたものですが、時代と共に変わってしまったその姿に、何かまだ私に伝えることができるのではないかと

思ったのが、チャイルドケアに興味を持ったきっかけです。自宅近くでCC加盟校の「ヒーリングサロン&スクール Aroma day」があることを知り、迷うことなく通うことにしました。

講座を学びながら、時には子育て談義に花が咲いたり、またサロンも併設されているので、日頃のご褒美としてケアをしていただいたりと楽しく学ぶことができました。

最初に学んだ「命」。存在する全てにこの命があり、限りなく奥深いと改めて感じています。風邪を引いた時には安易に薬を飲んでいましたが、自然のリズム、季節、1日のリズムに合わせた生活に見直す勉強にもなりました。仕事柄、1つの章を学ぶ度に実践することができるので復習にもなりました。

10年もベビーシッターをしているといろいろな出会いもあります。トイレトレーニング中の子どもがトイレに誘っても中々行こうとせず、そっと手を出し、「行こうか」と声をかけると笑顔で「うん!」と。その後、「家でも、すんなりとトイレに行けました。」とお母さんから聴いた時にはこちらも笑顔に



なりました。

また別のお母さんに、「先生、どんな魔法をかけたのですか?」「えっ?」「野菜が苦手なのに、食べられたんですよ!」「お弁当箱、カレーライスの歌を歌って、さぁみんなで食べようかあ。」と、これだけです! 食べなさいだけでは駄目ですね。この翌日に2組の親子は笑顔で登室しました。

子どもたちの笑顔にエネルギーをもらい、まだまだ研鑽している毎日です。さらに「勉強しただけでは何もならないよ。」と娘が言った一言が、インストラクターと加盟校を目指すきっかけになりました。その娘もベビーシッターの勉強をして、私の代わりに依頼先に行ってくれる良きパートナーです。

今後は、チャイルドケアをより多くの人に知ってもらえるように、仲間との交流を深め、お互いに切磋琢磨しながら、未来溢れる子どもたちのために活動していきたいです。



通学で得られた チャイルドケアの学びの チャンス

CCC 普代 加奈さん（東京都青梅市）

3歳の娘の母。“子どもとふれあう時間を楽しむ”をテーマに、保育園や自宅でチャイルドケアやアロマのセミナーを開催。また、母のためのパーソナルトレーニングを提供。



私がチャイルドケアという言葉を知ったのはJAA会報誌の『香羅夢』でした。子どもが生まれ、当時は慣れない子育てにバタバタしていました。何が良き母なのか、初めての子育てに戸惑い、苦心し、日々模索している時に知ったのです。

ある日、松本先生の講座を受ける機会がありました。周りはすでにチャイルドケアを学ばれ、活動されている方達ばかりです。ただ、興味があるから参加しましたというのは私だけ。私1人場違いのような気がしてドキドキしながら受講したのを覚えています。当時は学びの方法は通信かeラーニングしかなく、PCが苦手な私は“私には無理…”とあきらめていました。

2年が経ち、癒しの祭典で1冊の本に出会いました。それは松本先生が書かれたチャイルドケアの本です。読み進めていくうちに、やはりもっと学びたいという気持ちが芽生えました。調べてみると加盟校だと通学で学べることを知り、小平市にあるCC加盟校「サシスクール」を見つけました。単純に家から通いやすいという点と、分からないことがあればすぐに

質問できるという点で選びました。スクールの扉を開けると、中からアロマの幸せな香りとともに穏やかな笑顔の鴨下先生がいらっしゃいました。基礎編のスクーリングを終え、緩やかな時間が流れるサロンの空間が気に入り、ここで学ぼうと決めたのです。

レッスンは各分野7つで構成され、勉強をしているという感覚がない程に楽しいもので、日々の生活に取り入れやすいものでした。子どものためになればと始めた講座が、いつの間にか私自身（母親）のためになっていました。以前に比べ、子どもとふれあう時間、ともに楽しめる時間が増え、イライラが減ったのです。今までは子どものことを見ているようで“みて”い

なかったのかもしれませんが。子育てに正解はない。子育て本通りにいく子ばかりでもない。多くの情報に惑わされ、不安を感じていた私に揺らがない芯ができたような気がします。

現在では保育園や自宅でチャイルドケアをテーマにした講座を開くようになりました。参加者の中には以前の私のように子育てに不安を持ち、迷っている方が多くいらっしゃいます。講座を終えると肩の力が抜けたのか、お顔が緩やかになって帰って行かれます。小さな力でもチャイルドケアを通じて受け継がれたバトンを、今後、他のお母さんへ繋げていければと思っています。



学びは、子育てへの 自信と喜びに

CCC 岡 郁美さん（東京都小平市）

中1と小3、2人の娘の母。育児の合間に、市の保育施設で保育士をしています。チャイルドケアで学んだことを現場で活かし、お母さんたちにも伝えています。



私がチャイルドケアを学びたいと思ったのは、小さな子どもを連れての海外赴任がきっかけでした。当時1歳と5歳の娘たちを連れて、慣れない海外生活。言葉も通じない現地の医療機関での治療や投薬がとても不安でした。そこで、何か家庭でできる健康ケアはないかな、とアロマセラピーやハーブについて調べている時に、チャイルドケアにたどり着きました。

たまたま参加した市民講座で講師をされていたCC加盟校の鴨下先生と出会い、お話を聞くうちにもっと深く学んでみたいくなり、通学講座を受講することに。自然療法を生かしたホームケアは、どれも家庭で気軽に実践できるものばかりで、大変参考になりました。

以前は、子どもの少しの鼻水でもすぐに心配になり、病院へ駆け込むようなこともありました。しかし、チャイルドケアを学んでからは、アロマセラピーやハーブ、タッ

チケアや東洋医学の知恵などを利用して、普段から家庭でも病気予防や自然治癒力を高めるケアができることを知り、以前よりも親として自信と余裕を持てるようになりました。そして、学ぶきっかけは子どもの健

康を守るためでしたが、講座全体を通して「子育てにおいて大切な考え方」そのものを改めて再確認できたのも、大きな収穫です。

日々のいろいろな場面で、育児について悩んでいますが、「自分自身も子どもから様々なことを学び、親として成長させてもらっている」そう考えると、自分は今とても素敵で貴重な経験をしているのだなと、前向きな気持ちになります。

そして、鴨下先生との素敵な出会いにも、感謝の気持ちでいっぱいです。小さな子どもがいても、家庭の都合や子どもの

行事などに合わせて、講座日程を調整していただき、大変助かりました。指導もとてもいいので、ツボの刺激の仕方や、ドライハーブとフレッシュハーブの香りの違いなど、テキストの記述だけでは伝わりにくい内容も、実習を交えて詳しく教えていただき、とても分かりやすく学ぶことができました。

小さなお子さんがいるお母さんにこそ、ぜひ学んで欲しいチャイルドケア。これからも子どもと一緒にたくさんの経験をして、私も親として成長して行きたいと思います。

CC加盟校「サシェスクール」主宰 鴨下徳子先生からのメッセージ

教室は、お花やアロマが香る落ち着いたサロン。当スクールの生徒さんは、日々忙しい子育て中のお母さんがほとんどのため、美味しいハーブティーを飲み、リラックスしながら楽しく受講していただいています。

普代さんは、入学時に「チャイルドケアのライセンスを活かしたい」と語り、真剣にチャイルドケアを学ばれていた姿が印象深く残っています。チャイルドケアの活動は楽しいです。今後のご活躍を期待しています。

岡さんのお嬢さんたちは、チャイルドケアを学び、実践されたお母さんからチャイルドケアを学んでいきます。チャイルドケアをとおして、さらに母と子の絆が深まることと思います。



実習や先生の体験談は 通学の楽しみに

CCC 山崎 久栄さん（埼玉県戸田市）

2013 年長女、2015 年次女出産。4 歳・2 歳の 2 児の母。現在、接骨院にて身体の勉強及びアロマ担当として活動中。10 月～接骨院よりストレッチジムをオープン予定のため、インストラクターとしてベビー教室や高齢者体操教室も開催して、チャイルドケアで学んだことも伝えていきたいと考えています。



2人目を妊娠中に主人の転勤で関東へきました。2人目だったので里帰りをせずに出産・育児をしました。が、余裕がなくなり私自身が精神的に不安定…。子育ても楽しくない、我が子もかわいいと思えない。産後に辛い経験がありました。同じ様な悩みを持つてる人は沢山いるんじゃないかな？と思い、この経験を活かしてお母さんの気晴らしの場所を作ろうという思いから、はじめはベビーマッサージを学ぼうと探しました。

元々、JAAアロマコーディネーター資格を持っていたので、JAAでベビーマッサージはないかな？と調べてみると「チャイルドケア」にたどりつき、子育て中の私には興味深い内容だったことで受講を決めました。学ぶのなら通信ではなく通学を希望していて、自宅から通える範囲にCC加盟校「おひさまのたね」があったので選びました。

主宰の野澤先生は知識の引き出しが多く、お話しのかたや表現力はとても勉強になりました。通学じゃないと体験できない先生の体験談、クラフト作りを多く取り入れた授業は毎回楽しみでした。時には先輩お母さんとして悩みの相談もでき

ました。チャイルドケアはテキストを読んでいるだけでも優しい気持ちになって、学んでいくと、子ども以外にも人と接するとき、話し方が強いか？この表現の方が相手に伝わるかな？と今まで気にしていなかった言葉の大切さを意識するきっかけになりました。

また、ハーブを使ったアレンジがたくさんあることにも感動しました。夜や休日に子どもと一緒にハーブティーを飲んでゆっくりお話ししたり、バスボムや石鹸作り、お絵描きをして、なるべくお互い素直に話ができるようにしています。勉強する度に子育ての難しさと楽しさを実感し、今まで当たり前になっていたことが「これよかった」など考えるよい時間になりました。

現在の職場ですぐに使えるベビーマッサージやキッズ体操教室などを行い、子

どもたちに体を動かす楽しさ、何事にもチャレンジする気持ちを伝えていければと思います。そのときは話し方を考えて、言葉の大切さも伝えてみようと思っています。

今後は、お母さんに向けて、お子さんと一緒に来て安らぐエステサロンを作りたいと考えています。子どもがいたからチャイルドケアに出会えて今があるので、感謝を忘れないでいきたいです。お母さんが元気になって、明るい家庭が増えていけばうれしいです。



CC加盟校おひさまのたね主宰 野澤 智恵子先生からのメッセージ

チャイルドケアの通学制は、受講される方の環境や状況に合わせて、学習を進めていけるメリットがあります。山崎さんもお子さん連れで受講されたこともありました。お互いの顔が見えるので、わかりにくいところはその場で気軽に質問したり、一緒に考えたりしながら進めることができたように思います。チャイルドケアをお伝えしながら私自身もいろいろ経験しています。

山崎さんは、いつも笑顔でお話される姿や学ばれている時のひたむきさに、凛としたお母さんの強さを感じられました。これからのご活躍を応援しています。

いやしの祭典 2015

iyashino
SAITEN
2015

全国 12 会場のうち、残すは 7 会場となりました！

函館・金沢・札幌・福岡・東京、大盛況に終わっています♪

ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。いやしの祭典では、アロマセラピーをはじめ、ハーブ関連の商品販売、トリートメント、各種体験、フードブースなどをお楽しみいただけます。最寄りの会場にぜひお越しください。各会場先着限定またはスタンプラリーでの特典があります。

詳細はこちらから

いやしの祭典 2015

検索

http://www.jaa-aroma.or.jp/iys_2015/



facebook いやしの祭典 2015

<https://www.facebook.com/iyashinosaiten>

大阪

アロマ de BEAUTY ♥
アロマ de HEALTHY

- 日時／11月3日(火・祝)
10:00～17:00
- 会場／OMMビル天満橋
- 入場／無料(一般500円)
- 有料セミナー／2種(要予約)
- 出店ブース／75



沖縄

OKINAWA Life 満喫
ちむちゅらら♪

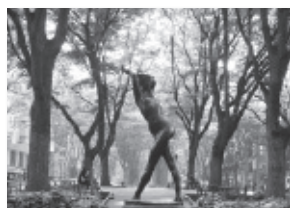
- 日時／10月18日(日)
10:30～17:00
- 会場／沖縄産業支援センター
- 入場／無料
- 有料セミナー／3種(要予約)
- 出店ブース／41



仙台

繋がる、広がる、
笑顔の輪!! 東北六香祭!!!

- 日時／11月14日(土)
10:30～17:00
- 会場／TKPガーデンシティ仙台
勾当台
- 入場／無料(一般500円)
- 有料セミナー／(要予約)
- 出店ブース／41



伊香保

温泉とアロマのほっこり・じかん

- 日時／10月25日(日)10:30～16:00
- 会場／伊香保温泉 HOTEL天坊
- 入場／無料
- 50名限定ランチ&入浴付きチケット販売中♪ 3,500円／ペアチケット5,800円
- 他各種トリートメント特別チケットあり
- 出店ブース／20



高知

癒してつながろう
高知家 大家族計画

- 日時／11月22日(日)10:30～16:00
- 会場
こうち男女共同参画センター ソーレ
- 入場／無料
- 有料セミナー／3種(要予約)
- 出店ブース／30



名古屋

彩り体験アロマガーデン

- 日時／11月1日(日)
11:00～16:00
- 会場／フナリエ(旧ランの館)
- 入場／無料
- ワークショップ／
フラワークラフト(要予約)
- 出店ブース／20



福山

香りの聲～自然時間

- 日時／11月29日(日)
10:30～16:30
- 会場／
福山市ものづくり交流館
- 入場／無料
- 有料セミナー／2種(要予約)
- 出店ブース／25



お問合せ先／日本アロマコーディネーター協会 03-5928-3100

松本美佳先生／松本安彦先生による

八洲学園大学公開講座

来校受講／PC（ライブ&オンデマンド）受講

11月
5日

11月
19日

12月
3日

12月
17日

チャイルドケア講座

チャイルドケアの講師の言葉で直接聴く

eラーニング基礎講座

受講者のほとんどがすでにチャイルドケアを受講している方です。テキストでは分からなかったこと、気づかなかったことなど、チャイルドケアの理解を深めるために受講されています。テキストにある普遍的

なチャイルドケアの考え方から、現在の子どもを取り巻く環境から考える問題について、常にフレキシブルに内容を盛り込みながら、チャイルドケア本部講師が直接お伝えしています。

❖時間／13:00～15:00

15:30～17:30

❖受講料／1～7回:3,000円

8回:4,000円

※最終講義から1か月オンデマンド受講が可能です。

	日 程	内 容
1	11月5日(木)	序 章 チャイルドケアの概念
2	〃	第1章 チャイルドケアと自然療法
3	11月19日(木)	第2章 子どものスキンケアと足の健康
4	〃	第3章 子どものためのハーブティー
5	12月3日(木)	第4章 子どものためのアロマセラピー
6	〃	第5章 子どものためのライフスタイル
7	12月17日(木)	第6章 チャイルドケアのための東洋医学
8	〃	第7章 タッチセラピーとベビー&チャイルドマッサージ

11月
21日

チャイルドケア
特別講座

心とからだの調和を図る

バッチフラワーエッセンス療法

テキストに少し紹介している「フラワーエッセンス講座」。ご利用している方も増えています。

今回、1930年代にイギリスの医師バッチ博士の考案したバッチフラワーエッセンス(ヒーリングハーブス)の考えを基本に、

その効果や使い方など、基本的な理解を深めます。家庭の中で子育てや生活に役立ててみませんか?講師の経験を踏まえ、マニュアルにはないチャイルドケアの概念からお伝えします。来校できる方はぜひ来校で受講ください。

❖開講日時／11月21日(土)

【前編】13:00～14:30

【後編】15:00～16:30

❖受講料／各3,000円

来校者 材料費1,000円

1月
23日

チャイルドケア
特別講座

ふれあいとタッチ

ハンドマッサージ講座

老若男女に手軽にできるハンドマッサージは、リラックスや疲労を取り去るだけでなく、コミュニケーションを図ることにとっても有効です。チャイルドケアのコンセプトにある「ふれあいとタッチ」から少し技術的

なことも踏まえご提案します。小さな子どもから高齢者までアレンジ豊かなハンドマッサージをお伝えします。来校できる方はぜひ来校で受講ください。

❖開講日時／1月23日(土)

【前編】13:00～14:30

【後編】15:00～16:30

❖受講料／各3,000円

来校者 材料費 500円

八洲学園大学 公開講座／<http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/>

お問い合わせ&問い合わせ先／八洲学園大学 TEL:045-317-4401

ハミングバードから 交流会&勉強会のお知らせ

ハミングバードはチャイルドケアを学んだ仲間で作る自主活動グループです。チャイルドケアに興味のある方ならどなたでも参加できます。グループ名の由来は「はちどりのひとしずく」からとっています。一人一人のできることを見つけていくことが目的です。

ハミングバード関東 交流会 & 勉強会

ハミングバード関東では10月31日に開催されるスクーリング「チャイルドケアのアロマ 香育」への参加を前提に11月の勉強会を開催します。スクーリングで吸収した内容を共有し理解を深める予定です。スクーリングに参加できる方はもちろん、日程が合わなくて、という方も勉強会を通じて

「チャイルドケアのアロマ」を共通認識できる機会にしたいと思います。皆さんのご参加をお待ちしております。

***日時** / 11月10日(火)
10:00 ~ 12:30

***場所** / アーツ千代田 3331 (東京都千

代田区)

***費用** / 1000円程度

***お申し込みお問い合わせ先**

CC加盟校 おひさまのたね 野澤智恵子
E-mail: ohisamahuman@yahoo.co.jp

ハミングバード東海 交流会 & 勉強会

東海地区のハミングバードでは昨年より回を重ね交流会を深めてきました。今後は、チャイルドケアの学びにご自身が思っていることや感じていることなどを勉強会として更に深めていきたいと考えています。今回のテーマは『チャイルドケア』ってなあに？

皆さんはどのように感じていらっしゃるでしょうか？チャイルドケアとは子どもだけのケアに限らず、『いのち』あるものすべてのケアで幅広い年代にも役立つケアで

す。今回はこのテーマについて皆さんと考えたいと思います。

ランチをしながらチャイルドケアを深めてみませんか。お子さま連れでの参加もできます。また、一緒に活動をしてみたいCCC、CCIの方も募集しております。お気軽にお問い合わせください。

***日時** / 11月11日(水)
11:00 ~ 14:00

***場所** / 愛知県名古屋市内

***お申し込みお問い合わせ先**

● CC加盟校 ふう〜たんぽぽの里
山本美津子
TEL: 090-3162-3663
E-mail: angel.smiling0107@gmail.com

● CC加盟校 アロマスクール Mommy
前田智巳
TEL: 080-1616-0895
HP: <http://www.mommy-aromacare.com>

ハミングバード関西 ランチ交流会

ハミングバード関西では、当日開催されるスクーリングの前の時間を利用したランチ交流会を企画しました。チャイルドケアを学ぶ仲間と一緒に、『チャイルドケアのこと』や『子育てのこと』『不安や疑問に思っていること』『チャイルドケアを学んで感じていること』などを語り合いませんか？

ぜひ、この機会に皆さんと交流を深め、一緒に学んでいきたいと思ひます。

チャイルドケアを学んでいる方ならどなたでも参加できるアットホームなグループですので、お気軽にお問い合わせください。

***日時** / 11月14日(土)
11:00 ~ 13:00

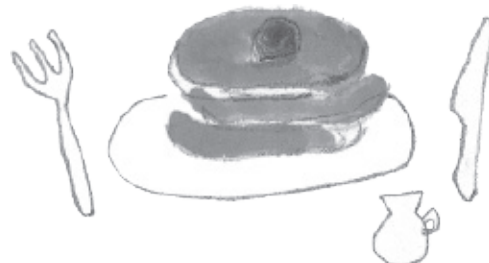
***場所** / スクーリング会場周辺

***費用** / ランチ代

***お申し込みお問い合わせ先**

CC加盟校 ママ未来サポート
TEATREE 徳永加津子

E-mail: kazuko@tokunaga.co.jp
TEL: 090-6677-1122



INFORMATION

JAA主催

松本美佳先生によるスクーリング

東京／10月31日(土) 大阪／11月14日(土)

チャイルドケアのアロマ ― 香 育 ―

チャイルドケアの第4章でお伝えしているアロマセラピー。チャイルドケアでは、基本的なアロマセラピーの利用の仕方だけではなく、7つのコンセプトの「子どもを取り巻くすべての環境から考える」「自然療法から考える」「感性を磨きましょう」「命と生きるを考えて伝えていきましょう」などから、包括的に「香育」を捉えています。香りの選び方や効果を子どもの視点からも考え、楽しむことができるチャイルドケアのアロマセラピーをご提案します。講義+ワークショップの体験型スクーリングです。五感からの学びの提案です。

◆日程・会場

10月31日(土)

アットビジネスセンター池袋駅前本館

11月14日(土) 新大阪丸ビル本館

◆時間／13:30～16:30

◆対象者・受講料

MC 会員／4,800 円

JAA 会員・JAS 生／5,400 円

その他一般／5,900 円

チャイルドケア加盟校生徒は JAA 会員と同じ費用でのご参加が可能です。



チャイルドケア(CC) 認定加盟校 指導者講習会

加盟校開講に必須の講習会です。ご希望の方は加盟校登録をお済ませのうえ、講習会にお申込みください。当日は開校にあたり、加盟校規約の再確認を行い、その後松本先生に講座指導に当たっての心構えやポイント、注意点などをレクチャーしていただきます。この講習会への参加で認定加盟校登録の手続きが全て終了となり、チャイルドケア・コーディネーター(CCC)のライセンス対応通学講座の開講が可能です。すでに加盟校となられた方の復習にもおすすめです。

◆日時／2016年2月27日(土) 12:00～17:00

◆会場／東京都内指定会場

◆内容

【規約説明】認定加盟校の規約の再確認

【指導者講習】CC 講座の指導のポイント、

主宰者としての心構え等のレクチャー、質疑応答

◆受講料／10,800 円 復習受講／5,400 円

◆認定加盟校開校の条件／MC 会員および CCI ライセンス取得者

◆開校のための案内資料をご希望の方は、CC 本部までご連絡ください。

CCI 取得済みの方であれば資料請求が可能です。

スクーリング、講習会のお申し込みについて

お申し込みは開催2週間前までお願いします。

●お名前と受講番号(もしくは会員番号)をご用意の上、お電話にてお申し込みください。

TEL: 03-5928-3100

●お申し込みいただいたスクーリング、講習会費用は、お申し込み当日もしくは翌日までに下記指定銀行口座のいずれかにご送金ください。お振り込みの際には、お名前の前に必ず数字の「2」(判別NO)をお書き添えください。

●お申し込み後のキャンセルは、その開催日の1週間前(土日祝を除く)までとさせていただきます。開催日1週

間以内のキャンセルの場合は参加費用のご返金はできませんので予めご了承ください。

●セミナー開催日当日のお申し込みはできません。

●参加者が開催人数に満たない場合には、中止となることがあります。開催の可否は、各会場2週間前に決定しますので、開催間際のお申し込みを避け、お早めにお申し込みください。

【スクーリングの託児について】

●JAA主催スクーリングでは、ボランティアの協力がある場合に限り、会場内での託児をお引き受けします。託児希望の方は、受講お申し込みの際に希望をお申し出ください。(託児料500円)尚、隣席での同伴参加もできますのでご相談ください。

●また託児ボランティアを随時募集しています。申し込み期日は各会場開催日の一ヶ月前まで。CCC以上でスクーリングに2回以上参加している方でしたらどなたでも可能です。JAAまでお電話ください。

お振込み先

- 三菱東京 UFJ 銀行 池袋東口支店 普通 1920305
- ゆうちょ銀行 00170-4-122869
- 名義／日本アロマコーディネーター協会

加盟校主催
スクーリング
基礎編

チャイルドケアの7つのコンセプトを深めよう!

お近くにお住まいの方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか?

基礎編の内容だけではなく、学習する上でさまざまな情報を発信されています。

●松本美佳先生による基礎編指導は、公開講座の基礎講座の「序章 チャイルドケアの概念」にあたります。
インターネット配信のみになります。詳細はP12をご覧ください。

◆対象者・受講料/チャイルドケア講座受講生・JAA会員・JAS生 3,000円/一般 4,000円

♥おひさまのたね

野澤 智恵子

お子様連れの受講も可能です。チャイルドケアを知っていただくことで、生活をより楽しめるきっかけを提案したいと思います。

◆日時/11月6日(金)/11月20日(金)
10:00~12:00

◆場所/東京都北区

◆お申し込みお問い合わせ先

Tel/090-9803-8878

E-mail:ohisamahuman@yahoo.co.jp

♥アロマエステサロンサシェ・スクール

鴨下 徳子

受講生から「癒されるサロンの空間で楽しく講座を学べますね♪」と喜ばれています。ブログで講座の様子をご覧ください。

◆日時/10月12日(月・祝)/11月23日(月・祝)/12月21日(月)
10:00~12:00

◆場所/アロマエステサロンサシェ・スクール(東京都小平市)

◆お申し込みお問い合わせ先

Tel/090-8514-2604

http://sachet-school.com/

Blog:

http://ameblo.jp/sacht20080420/

♥アロマケアスクールMommy

前田 智巳

お子様と一緒に受講も可能です。子育てやご家族のためにチャイルドケアを役立ててみませんか。ハーブティーを飲みながらのリラックスタイムもあります。

◆日時/10月30日(金)/11月18日(水)
12月9日(水) 10:30~12:30

◆場所/愛知県豊橋市

アロマケアスクールMommy

◆お申し込みお問い合わせ先

Tel/080-1616-0895

http://www.mommy-aromacare.com

HPよりお申し込み可能です。

♥ママ未来サポートTEATREE

徳永加津子

チャイルドケアの基礎を知って頂くことで、「子育て」を心から楽しむキッカケとなると思います。お子様連れでの受講も可能

です。

◆日時/10月23日(金)/11月20日(金)/1月22日(金)

10:00~12:00

◆場所/兵庫県姫路市

◆お申し込みお問い合わせ先

Tel/090-6677-1122

E-mail:kazuko@tokunaga.co.jp

HP:http://web-teatree.com

Blog:http://ameblo.jp/teatreeblog

♥RITY ROSE aromama

武部 みき

私もチャイルドケアを学び、子育て、家族のために役立てています。『子育て』って楽しいと思えるヒント(気づき)がたくさんあると思います。お子様連れでも受講していただけます。

◆日時/ご相談ください

◆場所/大阪府大阪市

◆お申し込みお問い合わせ先

Tel/090-7100-6325

E-mail:miki@rity.com

レポートからの 気づき メッセージ

Hand Washing!

子どもを手で洗う 編

通信講座では、「手で体を洗う」という課題があります。スポンジやタオルで洗うことが当たり前になっている今、シンプルに手で洗うということは何に気づけるのかという学習になっています。今回は素敵な気づきを得られたレポートをご紹介します。

『隅々までふれるということは、子どもを意識することにつながると思いました。お尻が冷たいことが多いので、気づけば「お尻のマッサージをしてあげようかな」とか、「腕が少し乾燥気味かな」「耳の裏が汚れやすいのか」という気づきを通して、子どものことを理解でき、また愛おしさが増して、つながりが強くなったように感じました。子どものことがわかると育児の自信にもなりました。自分については、今までは泡で洗うようにしていたので皮膚に触れるのは不思議な感覚で、太腿やお尻がこんなに冷たい

とは思っていませんでした。汚れやすいところもわかったし、心が落ち着くのも感じました。体の張りやお腹が張っているときは、便秘だからと排便を意識したり、健康管理にも役立ちました。』

T.N さん



随時
お申込み
可能です!

チャイルドケア・インストラクター (CCI) 認定講座

CCC 合格後のスキルアップにチャレンジください!!

在宅で学び、受験、CCI 認定まで進めていただくことが可能です。



課題の再提出が必要となることもあります。
レポート返送時に筆記試験一式を同封します。
1ヶ月以内に解答し、JAA に郵送ください。

例 11月10日試験発送→12月10日提出締め切り→合格→翌年1月10日認定証発送
11月25日試験発送→12月25日提出締め切り→合格→翌年1月25日認定証発送

◆受講条件 / CCC かつ MC 会員

※ガイドブックをお持ちでない方は購入が必須です。

◆受講料 / 32,400 円 (税込)

※受験料、認定料込み

ガイドブック付きは受講料プラス 4,320 円となります。

◆課題提出 / 1 回 (再提出の場合あり)

◆受験 / 在宅試験 (月 2 回)

不合格の場合は再受験料
10,800 円となります。

◆お申込み先

Tel / 03-5928-3100



加盟校
主宰者様へ

チャイルドケア・コーディネーターライセンス認定試験 実施要項

通学講座：受験手続きの流れ

◆試験日 / 2016年1月31日(日)

◆受験資格 / 2016年1月29日(金)現在、
協会が指定する各スクールの所定のカリ
キュラムを修了し、修了証書を有している者
(所属スクールの修了証のコピーが必要)

◆試験形式

理論試験(記述・選択)90分 / 小論文60分

◆受験料 / 10,800円(税込み)

◆受験願書の提出期間

2015年11月30日(月)~12月22日(火)(必着)

※認定試験の合格発表は2月上旬、MC
C会員登録手続きの期限は3月末、
登録者へのライセンス証等発送は
4月下旬です。

※ホームスタディ講座の受講生は別
規定となります。

Congratulations

今後の更なるご活躍を心よりお祈りしています

※チャイルドケア・コーディネーター合格者の皆さん (敬略称 10名)

池田早紀 / 宝来美里 / 杉本良花 / 高橋加代 / 天田由紀子 / 村西恵美 /
楠本希 / 前田礼子 / 普代加奈 / 岡郁美

2015.6/1 ~ 2015.9/15 付け

MC 会員の更新手続き

下記の受講番号に該当する方は、今後のレポート提出には MC 会員の更新
が必要です。(更新手続き書類 11 月上旬郵送) 更新をされない方は、次
号より本誌ピーカープーのお届けもストップします。予めご了承ください。

●受講番号

14CCD104 / 14CCD105 / 14CCD106 / 14CCD107

(最初の 5 桁)

AW14-Y / AW14-Z / CC14-9 / CC14-X / CC14-Y / CC14-Z

原稿募集! メンバーズメールや活動報告など誌面を利用して発表してみませんか?

日本アロマコーディネーター協会 チャイルドケア本部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-25-9 今井ビル 5F TEL/03-5928-3100 FAX/03-5928-3500

E-mail/info@childcare-jp.com URL/www.childcare-jp.com/ ● MC 会員専用ページログイン方法 / ログイン ID : CC パスワード : mckaiin